

宇陀市 ハイキングマップ



高原の文化都市



歴史と
文化と
自然が
いっぱい!!

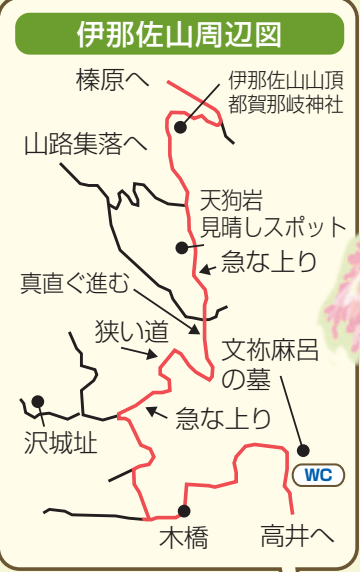


宇陀市ハイキングマップでは山歩き、里歩きを手軽に楽しめるコースを、市内4地区(榛原、室生、大宇陀、菟田野)から紹介しています。史跡めぐりで歴史を感じ、四季折々の花や自然を楽しみながらリフレッシュできるのが魅力です。全コースとも日帰りです。十分に楽しみ、清々しい空気の中を歩くことで、運動不足解消、基礎体力の向上が期待できます。このハイキングマップを手にとった時間、新しい発見と出会いを楽しんでみませんか!

② 文祢麻呂の墓・伊那佐山コース



宇陀市ハイキングマップ



文祢麻呂の墓 - 伊那佐山 (約14.3 km)
 壬申の乱の功臣である文祢麻呂の墓を訪ね、古代最大の内乱と宇陀の歴史について考えながら伊那佐山に登るコース。マイカーの場合、宇陀市役所の駐車場が利用できる。



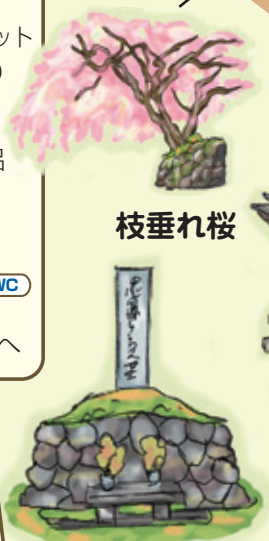
能峠遺跡群 (復元)

伊那佐山 637m



都賀那岐神社

これより登山道を上る



枝垂れ桜

不動堂

WC

右方向伊勢街道へ進む

佛隆寺へ

たかぎふるさと館

WC

丹波佐吉の狛犬

五社神社

文祢麻呂の墓

天狗岩

WC

沢城址

木橋

高井バス停

文祢麻呂の墓

文祢麻呂は壬申の乱(672年)に、大海人皇子(のちの天武天皇)の軍で活躍した。ガラス壺等の出土品は国宝に指定され、古代の上級役人の埋葬方法が分かる数少ない例として大変重要な遺跡である。

伊那佐山

神武天皇の大和入りの話でも語られる伊那佐山(637.2m)。今も信仰の山として都賀那岐(つがなぎ)神社が祀られている。地元で親しまれている登山道は歩きやすく、気軽に登ることができる。

丹波の佐吉(村上照信)

江戸時代末期の名石工。宇陀市には四国八十八ヶ所を模した霊場など佐吉による作品が多く残されている。

能峠遺跡群

大和高原南部地区農地開拓事業により横穴式石室4基、小型横穴式石室8基が移築保存された。縄文時代から江戸時代に至るまでの各時期の遺構は、宇陀地方の墓制の移り変わりを考えるうえにおいて重要である。

至・曾爾村

全行程約 14.3 km
 榛原駅 -0.7- 墨坂神社 -3.1- 伊勢街道分岐(不動堂) -2.0- たかぎふるさと館
 -1.5- 五社神社 -0.7- 文祢麻呂の墓 -1.7- 伊那佐山山頂 -3.4- 水分神社
 -1.2- 榛原駅



③伊勢本街道の山 高城岳・三郎岳コース

佛隆寺

室生寺の南門と言われ、寺伝では、嘉祥3年(850)、弘法大師の高弟堅恵が堅興経を檀主として建立したと伝えられる。また、それ以前は興福寺の修円が住んだとも言われ、本尊は十一面観音菩薩立像。宝形造りの石室(重要文化財)は、貞観9年7月5日に入定した堅恵の墓と言われ、内部には鎌倉時代の五輪塔を安置する。また、寺宝として空海が唐から持ち帰ったと伝えられる茶臼が保存されており、境内には大和茶発祥伝承地にふさわしく野生化した丸葉の茶樹が自生している。

三郎岳

山頂は360度開けており、東に青山高原、西に大阪などを望む事ができる。山頂から下ったところに、磨崖仏がある。

高井バス停



頭矢橋



高城岳山頂からの眺め



三郎岳山頂からの眺め

旧旅籠松本家
高井の千本杉
旧旅籠津越家



万葉歌碑

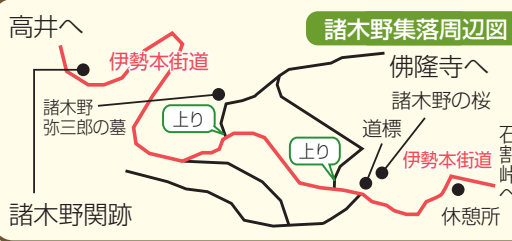


千体仏

伊勢本街道

ゆるい上りつづく

室生古道



宇陀市ハイキングマップ

佛隆寺 - 高城岳 - 三郎岳 - 諸木野 (約10.4km)

大和茶発祥の古刹、佛隆寺を経由して展望の良い高城岳へ登り、宇陀市で一番高い三郎岳へ尾根を縦走するコース。桜、新緑、紅葉の季節が特にきれいで楽しめる。マイカー利用の場合、佛隆寺の駐車場が利用できる。

高城岳

神武天皇東征の伝承地、古事記・日本書紀に記されている「菟田の高城・・・」は、この地ではないかと言われている。頂上からは生駒、金剛・葛城、吉野などの山々が一望できる。

佛隆寺

白岩神社

室生古道

室生寺(車道)

水車小屋

茅葺屋根の旧家を過ぎ左へ折れる



大カエデ

WC

P

広船寺



千年桜

池

赤壇城跡



三郎岳磨崖仏

三郎岳 878m

急な下り

登山口

登山道

高城岳 810m

登山道



明開寺 奥の院

小屋

室生田口

血原橋へ

ゆるやかな下り

伊勢本街道

石割峠へ0.3km

ゴロ石が露出 足下注意

愛宕神社

諸木野簡易浄水場

諸木野関跡

全行程 約10.4 km
高井バス停 -2.0- 佛隆寺 -1.6- 登山口 -0.7- 高城岳 -0.7- 三郎岳 -0.6- 伊勢街道下山口 -1.4- 諸木野集落 -0.6- 諸木野関跡 -2.8- 高井バス停

⑤ 室生古道 佛隆寺・西光寺・室生寺コース



宇陀市ハイキングマップ

佛隆寺 - 唐戸峠 - 西光寺 - 室生寺 (約 7.7 km)

伊勢本街道から分岐し、室生寺の南門とされる佛隆寺より峠を越えて室生古道を室生の里へ歩くコース。特に桜の時期や彼岸花の秋がおすすめ。

高井の千本杉

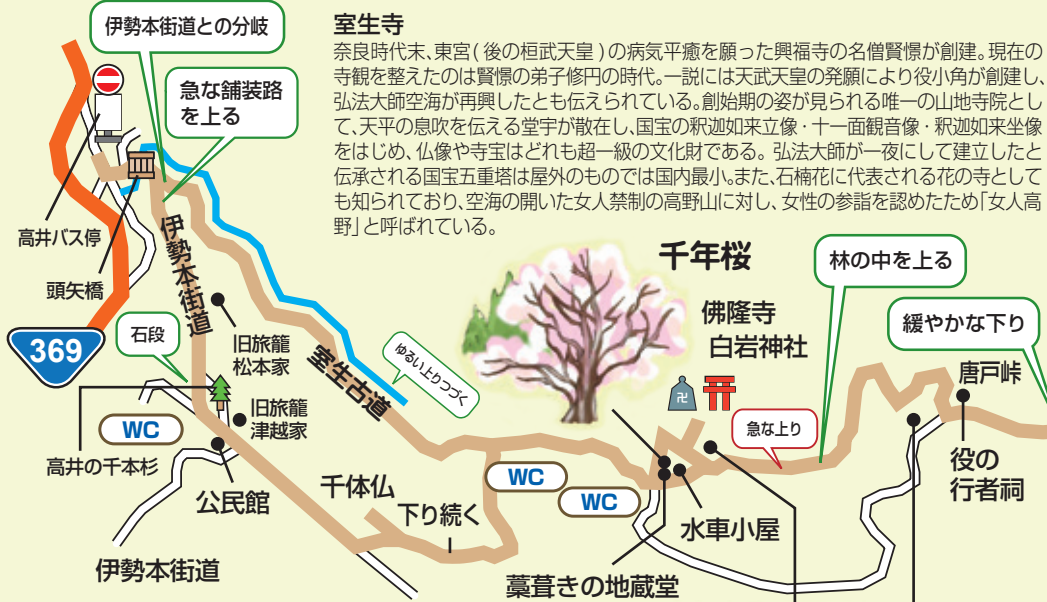
千本杉はオモテスギと言われる吉野杉。根幹は16本の杉が集まって1株ようになっており、根回り35mに及び巨木。株元には古い井戸があり、杉が自然に水を集める作用を利用した日本最古の井戸杉ではないかと推定されている。この杉は空海が室生山へ登った際にこの場所で弁当を食べ、その箸を地にさしたところ生育したという逸話があり、地元では霊木として崇めている。

唐戸峠

伊勢本街道から分岐し、室生寺の南門とされる佛隆寺から室生古道を登れば唐戸峠・峠から舗装道を少し下った地点からは宇陀方面の展望がよく開け、幻想的な山並みは太古のロマンを感じさせてくれる。峠には、修験道の開祖とされる役行者像が祀られている。

室生寺

奈良時代末、東宮(後の桓武天皇)の病氣平癒を願った興福寺の名僧賢憬が創建。現在の寺観を整えたのは賢憬の弟子修円の時。一説には天武天皇の発願により役小角が創建し、弘法大師空海が再興したとも伝えられている。創始期の姿が見られる唯一の山地寺院として、天平の息吹を伝える堂宇が散在し、国宝の釈迦如来立像・十一面観音像・釈迦如来坐像をはじめ、仏像や寺宝はどれも超一級の文化財である。弘法大師が一夜にして建立したと伝承される国宝五重塔は屋外のものでは国内最小。また、石楠花に代表される花の寺として知られており、空海の開いた女人禁制の高野山に対し、女性の参詣を認めたため「女人高野」と呼ばれている。



全行程 約 7.7 km
高井バス停 -2.0- 佛隆寺 -0.9- 唐戸峠 -2.6-
腰折れ地藏 -0.7- 西光寺 -1.5- 室生寺

千本杉経由は佛隆寺まで約 3 km
高井バス停 -0.8- 千本杉 -2.2- 佛隆寺



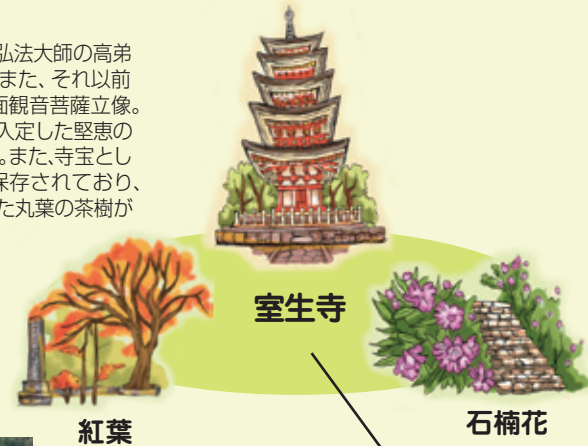
大カエデ(11月)

佛隆寺

室生寺の南門と言われ、寺伝では、嘉祥3年(850)、弘法大師の高弟堅恵が堅興経を檀主として建立したと伝えられる。また、それ以前は興福寺の修円が住んだとも言われ、本尊は十一面観音菩薩立像。宝形造りの石室(重要文化財)は、貞観9年7月5日に入定した堅恵の墓と言われ、内部には鎌倉時代の五輪塔を安置する。また、寺宝として空海が唐から持ち帰ったと伝えられる茶臼が保存されており、境内には大和茶発祥伝承地にふさわしく野生化した丸葉の茶樹が自生している。

西光寺

西光寺は室生寺の西に位置する融通念仏宗の寺。境内に咲く「城之山桜」と呼ばれる枝垂れ桜は樹齢約300年で、大野寺の桜の親木だとも伝えられている。



⑥ 大師の道 室生寺・龍穴神社 コース



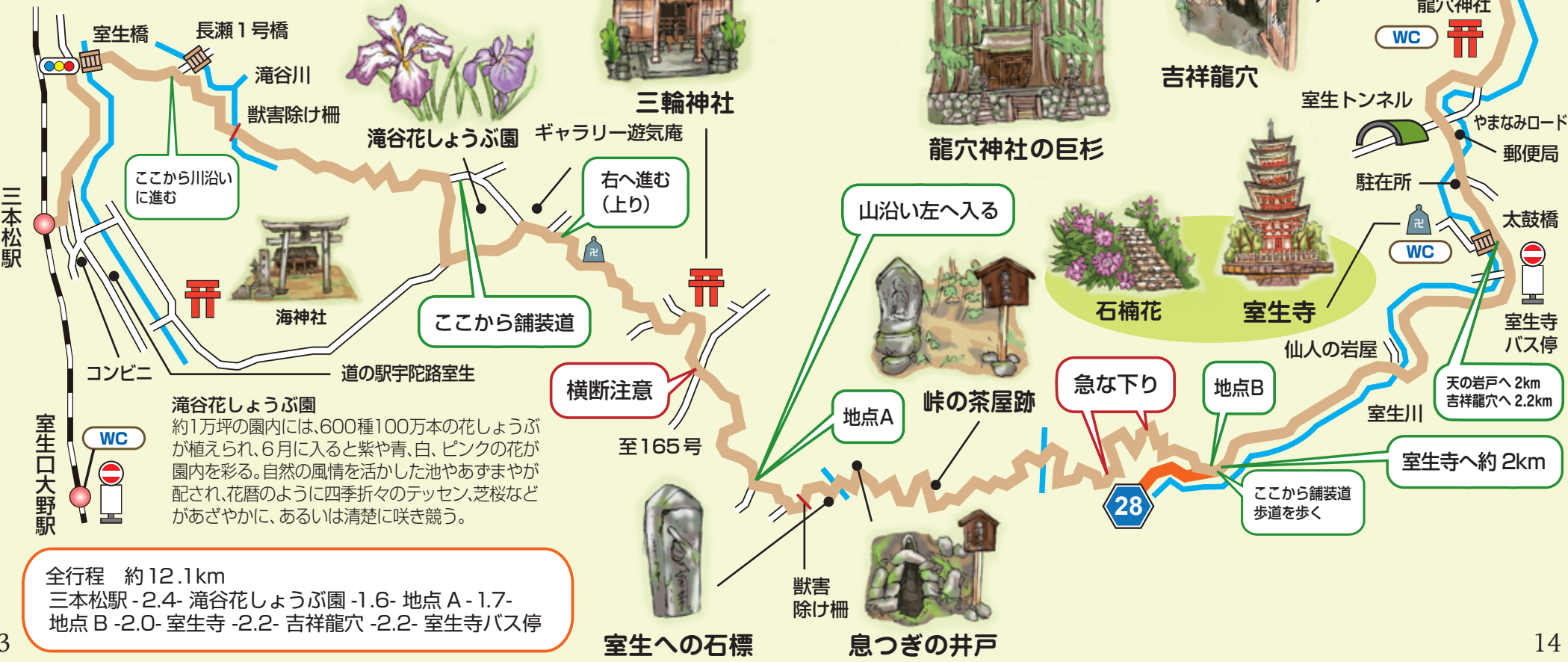
宇陀市ハイキングマップ

滝谷花しょうぶ園 - 室生寺 - 龍穴神社 (約12.1km)

弘法大師の月命日(21日)には室生寺へ参る道として多くの人出で賑わったと言われる大師の道を歩くコース。今も自然豊かな道が歴史を刻んでいる。

龍穴神社

室生川沿いにさかのぼったところにある龍穴神社は室生寺よりも古い歴史をもち、水の神「龍神」を祀る。奈良時代から平安時代にかけて朝廷からの勅使により雨乞いの神事が営まれ、室生寺は龍穴神社の神宮寺であった時代もある。上流には龍神が住むと伝わる洞穴「妙吉祥龍穴」があり、古代から神聖な「磐境」とされてきた。

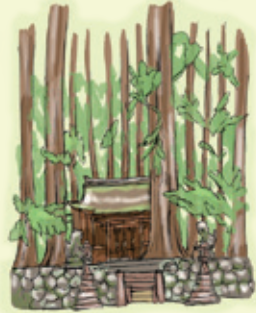


室生寺

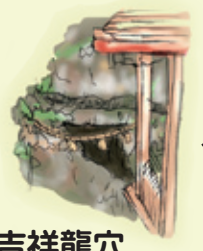
奈良時代末、東宮(後の桓武天皇)の病氣平癒を願った興福寺の名僧賢憬が創建。現在の寺観を整えたのは賢憬の弟子修円の時代。一説には天武天皇の発願により役小角が創建し、弘法大師空海が再興したとも伝えられている。創始期の姿が見られる唯一の山地寺院として、天平の息吹を伝える堂宇が散在し、国宝の釈迦如来立像・十一面観音像・釈迦如来坐像をはじめ、仏像や寺宝はどれも超一級の文化財である。弘法大師が一夜にして建立したと伝承される国宝五重塔は屋外のもので国内最小。また、石楠花に代表される花の寺としても知られており、空海の開いた女人禁制の高野山に対し、女性の参詣を認めたため「女人高野」と呼ばれている。



三輪神社



龍穴神社の巨杉



吉祥龍穴



室生寺



室生への石標

息つぎの井戸

⑦宇陀松山地区・万葉公園コース

宇陀市ハイキングマップ

■ 松山地区 - 徳源寺 - 阿紀神社 - 万葉公園
- 人麻呂公園 (約4.5km)

古い町並みが今も残る重要伝統的建造物群保存地区の宇陀松山、織田松山藩が歴代藩主の菩提所として建立した徳源寺。柿本人麻呂ゆかりのかぎろひの丘万葉公園等を巡るコース。桜の時期には天益寺の枝垂れ桜、樹齢300年とも言われる又兵衛桜を楽しむことができる。



かぎろひの丘万葉公園



阿紀神社



天益寺の枝垂れ桜

ありし日の本堂

全行程 約4.5km

大宇陀バス停 - 0.3 - 森野旧薬園 - 0.5 - 薬の館 - 0.3 - 松山西口関門 - 0.8 - 徳源寺 - 1.4 - 阿紀神社 - 0.2 - 万葉公園 - 0.2 - 人麻呂公園 - 0.8 - 大宇陀バス停

オプションコース

人麻呂公園 - 1.1 - 又兵衛桜

人麻呂公園 - 0.9 - 大宇陀温泉あきののゆ



又兵衛桜



人麻呂公園



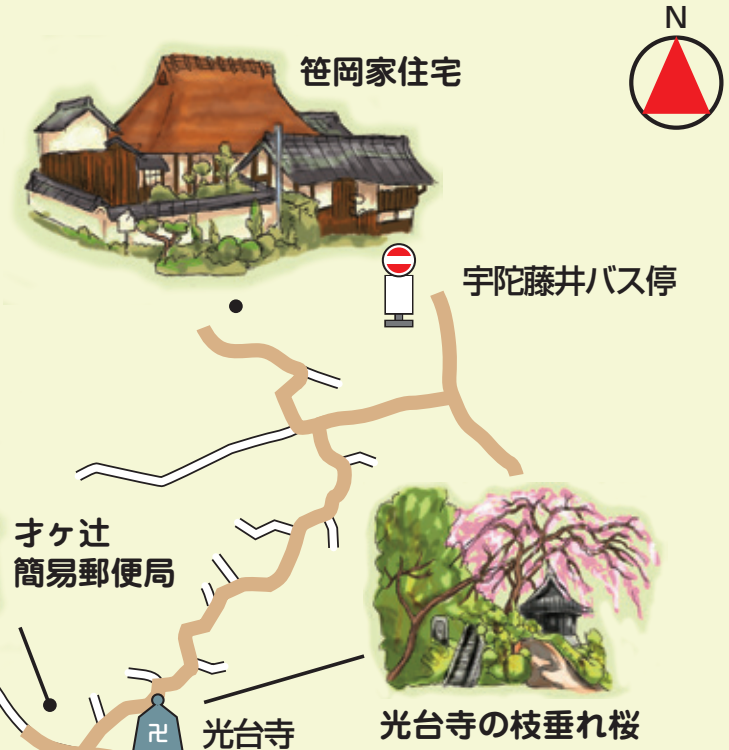
⑧ 高倉山伝承地・谷脇古墳 コース

宇陀市ハイキングマップ

■ 高倉山伝承地 - 谷脇古墳 - 笹岡家住宅 (約6.5km)

神武天皇が登ったという高倉山、古墳時代後期築造の谷脇古墳、国の重要文化財であり江戸時代に代々大庄屋を務めた笹岡家住宅を巡るコース。桜の時期にはオケ辻にある「枝垂れ3兄弟」を楽しむことができる。マイカーの場合、道の駅宇陀路大宇陀の駐車場が利用できる。

全行程 約6.5km
 大宇陀バス停 -1.8- 高倉山伝承地 -1.2- 谷脇古墳 -1.2- 県道168 -0.2- オケ辻簡易郵便局 -0.2- 光台寺 -1.2- 笹岡家住宅 -0.7- 宇陀藤井バス停



高倉山伝承地 うかしむら
 神武天皇は菟田の穿窟での大宴会の後、吉野川流域を巡りこの流域の有力者と出会い、再び宇陀へと戻る。その際に高倉山に登りこの地域の様子を山頂から眺めたと伝えられている。

谷脇古墳
 古墳時代後期に築造された円墳。花崗岩を用いた石室は南に開口し横に広いT字型。壁は四方から持ち送られ、巨大な天井石を架している。

笹岡家住宅
 古くからこの地の大庄屋を務めてきた格式ある家で、昭和43年に国の重要文化財に指定された。入母屋造りの主屋は寛永年間(1624~44)の造営で、表門は文化4年(1807)の建築。

⑨ 宇太水分神社・平井大師寺石仏群

宇陀市ハイキングマップ

宇太水分神社 - ひらら - 平井大師寺石仏群 - 六地藏石幢 - 入谷金兵衛の墓 (約10.5km)

国宝の本殿を持つ宇太水分神社、1200種3000本が色づくカエデの郷「ひらら」、四国八十八ヶ所を模した霊場、平井大師寺石仏群を巡るコース。マイカーの場合、菟田野地域事務所の駐車場が利用できる。



菟田野秋祭り

宇太水分神社

古市場水分神社バス停

宇太水分神社 (菟田野古市場)
木立の中に速秋津比古神、天水分神、国水分神の水分三座が祀られる。鎌倉時代に建てられ、縁起では大和国宇陀郡の水分大明神は天照大神の分身で、崇神天皇の時代に神託によって社殿をかまえたと言われている。



奈良カエデの郷「ひらら」

菟田野地域事務所

松井西バス停

農産物直売所 アグリマート



松林院身代わり地蔵



勝林寺

常盤御前の腰掛け石

共同墓地

六地藏石幢



西念寺六地藏石幢

江戸時代前期の建立。もともと村の出入口の三叉路の水田の中に人々の安全平和を願って建てられたもの。このような六角幢に地蔵を刻んだ六地藏は全国的にも数少なく県内でも四躰しか知られていない。

急な上り



神御子美牟須比命神社



入谷金兵衛の墓

入谷金兵衛の墓
入谷金兵衛はこの地の豪族で、南北朝時代、南朝の後醍醐天皇の忠臣であった。激しい争いの中、吉野方面の南朝方に狼煙をあげて敵の動向を知らせたと伝わる。

至内牧



平井大師寺石仏群

平井大師寺石仏群
ここは四国八十八ヶ所にちなんだ霊場で、幕末の石工・丹波の佐吉(村上照信)が弟子たちと共に刻んだ約百体の石仏が大師山をとりまいている。大師山内は桜や紫陽花、紅葉など四季折々の自然を楽しみながら散策できる。



全行程 約 10.5km
古市場水分神社前バス停 -0.3- 宇太水分神社 -0.2- ひらら -3.3- 平井大師寺石仏群 -2.7- 六地藏石幢 -0.2- 神御子美牟須比命神社 -0.8- 入谷金兵衛の墓 -1.6- 勝林寺 -0.4- 常盤御前の腰掛け石 -0.7- 松林院身代わり地蔵 -0.3- 松井西バス停

N



菟田野地域事務所へ
農産物直売所 アグリマート

常磐御前の腰掛け石

松井橋バス停

神武天皇聖蹟
菟田穿邑顕彰碑

小学校跡

坂を上る

八坂神社

伝・安楽寺跡
(駒帰廃寺)

急な坂を上る

横断注意

常磐御前の腰掛け石

平治の乱で源氏の源義朝が平清盛に敗れた為、幼い牛若丸を胸に抱いた常磐御前が、今若、乙若の手を引いて、伯父の住んでいた大和の国、宇陀郡竜門に身を隠し、更に、竜門から菟田野の下芳野へ逃げ延びる時、疲れ果て、腰を掛けたと言われる石。

伝・安楽寺跡(駒帰廃寺)

多武峰の談山神社に伝わる「宇陀旧事・写本」の記述からその存在が知られ発掘された。瓦窯跡や遺構の跡などから奈良時代の重要な仏教遺跡と見られている。

ヲドノ(大殿) 伝承地

神武天皇に反抗的な兄宇迦斯はここに罾をしかけ騙し討ちにしようとしたが返り討ちにされた。

全行程 約9.7km
松井橋バス停 -2.6- 宇賀神社・血原橋 -0.1- ヲドノ -1.7- 青蓮寺 -3.1- 神武天皇顕彰碑 -0.3- 国道166 -0.7- 伝・安楽寺跡 -1.2- 松井橋バス停

⑩ 宇賀神社・青蓮寺コース

宇陀市ハイキングマップ

宇賀神社・血原橋 - 青蓮寺 - 伝・安楽寺跡 (約9.7km)

神武天皇の足跡、中將姫伝説で知られる日張山青蓮寺、奈良時代の仏教文化と縁深い遺跡、伝・安楽寺跡を巡るコース。マイカーの場合、菟田野地域事務所の駐車場が利用できる。

宇賀神社

神武天皇東征時に返り討ちにされた兄宇迦斯えうかし、もしくは宇迦斯一族の祖神を祀ったものと伝えられている。

血原橋

誅殺された兄宇迦斯から流れ出た血は周辺を赤く染め、「菟田の血原」と呼ばれるようになった。

青蓮寺

日張山の中腹にひっそりとたたずむ浄土宗の尼寺。建立以来1200年の間このままの姿ではなかったろうかと思われる周囲の景観。中將姫にまつわる、哀れにもゆかしい物語を今日に伝える。父との不思議な再会からこの寺を別名「再会寺」と呼び、逢いたい人と夢叶う寺としても人々から親しまれている。

案内板

橋を渡ったら直ぐ右へ山道に登る

ここから林道に入る

宇賀神社のさるすべり

子もうけ石

青蓮寺

宇賀神社

血原橋

ヲドノ(大殿) 伝承地

四季の風薫る



歩いて回る
宇陀の
素敵
な
ところ



奈良県 宇陀市



農林商工部商工観光課

〒633-0292 奈良県宇陀市榛原下井足 17-3

TEL: 0745-82-2457

詳しくは

宇陀市 ハイキング

検索

